

平成26年8月定例教育委員会会議録

- 1 期 日 平成26年8月7日（木）
- 2 会 場 南別館3階 委員会室
- 3 開始時間 午前9時30分
- 4 終了時間 午前12時10分
- 5 出席者 小西委員長、島津委員、中原委員、赤松委員、黒木教育長  
その他の出席者  
児玉教育部長、杉元教育総務課長、久保田学校教育課長、月野生涯学習課長、  
新宮文化財課長、櫻木高城教育課長、新甫図書館長、後藤美術館長、稲吉都城  
島津邸館長、東教育総務課副課長、岡田教育総務課主幹
- 6 会議録署名委員 島津委員、赤松委員

7 開会

○小西委員長

それでは、ただいまより、8月の定例教育委員会を開催します。開催に先立ちまして、突然のご訃報ではありましてけれども、8月2日、教育委員会の都城島津邸名誉館長でありました島津久厚様のご逝去に心からのお悔やみを申し上げます。また、教育委員会にも長い年月に渡って多くのご縁をいただいたことと思っておりますけれども、平成20年の島津邸の開館式典、それから、3年前になります、在京都城人会から、都城島津邸の庭の緑の樹の中に、色のある樹があったらいいというご希望で楓の寄贈がございました。その折は、元気にスコップを持って、植樹をご一緒させていただきましたことが、僥ばれてまいります。7月27日に先立たれました奥様とともにご冥福を心からお祈り申し上げます。そして、喪主を務められました島津久友委員におかれましては、ご遺族おそろいでつつがなく今後もお過ごしくださいますようころから念じております。

8 会議録署名委員の指名

本日の会議録の署名委員に、都城市教育委員会会議及び選挙等に関する規則第15条の規定により、島津委員、赤松委員をお願いいたします。

9 教育長報告

○教育長

6月の議会での質問項目について報告します。

まず、新聞等で問題になっています性同一障害についてのご質問がありました。都城の小中学校の場合は報告されていないということです。宮日新聞では、子どもではありませんが、性同一障害で、戸籍上の性別を変更した人が、県内で21人いると新聞報道があったところです。今後、子どもの特に小学校高学年から中高生にかけて、このことにどう対応していくか、学校でも考えていかななくてはならないと考えています。

次に、交通安全につきましては、子どもの交通マナーの徹底も必要です。また、特に丸野小学校あたりの道路の危険個所の要望が出ていました。各学校では、地域の方や先生が、朝の登校時と下校時にはちゃんと指導しているということです。ただ、それ以外には、自転車での出

会い頭の事故があったという報告等があがってきています。これについては、今後、安全指導の徹底をしていくことが必要と考えています。

それから、問題行動については、一部の学校の一部の子どもですが、問題行動が起きているということで、昨年は、県警スクールサポーターという警察から派遣される方と教育委員会で警察OBの方を雇用して、その方二人が、学校に常駐して対応したという事例を報告しました。あってはならないことですが、このようにせざるを得ないという状況もあります。

子どもの貧困については、新聞等で最近、叫ばれています。とりわけ、日本は、2004年は相対的貧困率が14%で、今は16%に上がっていると最近の新聞にありました。アメリカは20数%で、その次に来るのがイスラエルとか中東の国が多いが、日本は世界で5番目か6番目で高い状況です。低い国は、北欧のノルウェー、スウェーデン、フィンランドは5%以下です。特に母子家庭等の生活保護世帯の基準も下げられたので、非常に厳しい状況にあります。貧困率が上がっていることは、教育の格差につながっていくので、注意していかないとはいけません。

特別支援教育については、発達障がいのある子ども1名に1名加配することができるようになってきました。学習が成立しない場合は、学校に1名を加配できることになっています。ただ、特別支援の子どもが増え続けていますのでこれから問題になってくるのではと考えています。

議員請願として、30人以下学級実現・義務教育国庫負担2分の1復元を求める意見書が採択されました。えびの市では、30人学級の実現のために市単独で教員を雇用して、小林市では、複式学級の解消で少人数学級の実現に向けて一歩踏み出しています。義務教育の国庫負担は元々2分の1で、小泉改革の規制緩和で3分の1になったもので、お金がない自治体では、雇えないので、教員の定数を減らさないといけない状況が起きて、非常勤講師、臨時教員が増えるということになっています。国に要望していくというこの請願は、非常にありがたいものだと思います。

次に、市町村教育委員会連合会から、感謝状として瓦田先生と酒匂先生に、功労賞として酒匂先生に表彰がございました。

それから、モンゴルウランバートルの青少年訪問団の歓迎会に出席しました。どの子どもも優秀な子どもたちでした。

そして、丸野小学校女子バレーボールが全国大会に出場することで、市長表敬訪問がありました。丸野小学校単独ではなくて、地域のスポーツ少年団ということでした。

中体連がありまして、都城はスポーツが盛んということで、男子は、妻ヶ丘中学校のバスケット、高城中学校の野球、西中学校の弓道、女子は、五十市中学校のバスケット、西中学校の体操が優勝しました。

それから、食中毒防止ポスターコンクールで庄内小学校の中村さん、沖水中学校の萩原さんが県知事賞を受賞しました。

次に、教員の多忙化の解消については、今年の一つの目標ですが、調査では、授業時数が、1週間で、53.9時間で調査国のなかでトップです。平均は38.3時間です。そのなかでも、課外活動が7.7時間を費やしています。平均が2.1時間ですから、3倍以上になります。部活が大きな問題として挙げられます。しかも、中学校の部活動の4割で、専門知識を持たずにスポーツの部活動を指導していることが問題として挙げられています。学校運営協議会などの地域で、部活動を見てもらい、先生方の負担を減らしてもらい、授業に向き合う時間を増やしてもらいたいと考えています。

○小西委員長

教育長報告について、ご質問はございませんか。

○島津委員

子どもの貧困についてですが、子どもの切り口ですが、実際には家庭の貧困となってしまうので、教育委員会のできることの切り口としては、就学支援となってしまうと思います。それ以外のところでは、当然、市長部局でということになりますが、それについての連携ということに関しては、どうなっていますか。

○教育部長

部長会議で、文科省が子どもの貧困化についての対策を打ち出したことで、自治体にも施策を考えるようになってきています。今後、国が大綱を定めます。それを受けて、福祉部が中心になって、教育委員会も含めて、色んな施策を練っていくこととなります。現時点では、調査の段階にあります。

○島津委員

交通安全につきましては、休みのたびに、言ってきました。もう、夏休みに入っていますが、休み前に子どもには各学校から指導されているとは思いますが、登校日に再度指導をお願いします。自転車マナーは相変わらず悪いようです。

## 10 議事

○小西委員長

それでは、議事に入ります。本日は、報告10件、議案5件です。報告第65号を生涯学習課長より説明をお願いします。

※生涯学習課長より説明

○島津委員

昨年は大体何名の参加があったのでしょうか。

○生涯学習課長

22年度から国の補助事業として開催してきたもので、22年度から24年度までは前後期の講座を開催していましたが、25年度から補助事業が終了しまして、市単独事業として開催しているところです。その結果、25年度は前期講座だけを開催しまして、スキルアップ講座は開催しておりません。前期講座に57名の参加があったところです。

○小西委員長

今年は、両方が復活したということですか。

○生涯学習課長

26年度から後期も復活しまして、隔年で、前後期、講座を開設する年と前期のみを開設する年を設けることにしました。

○小西委員長

後期の地域ボランティア等に積極的に参加できる人材を養成するとあり、最初は家庭のお母さんたちへの啓発みたいな講座だったと思いますが、人材育成の講座を受講された方の活動の実績というのはどのようになっていますか。把握はされているのでしょうか。

○生涯学習課長

24年度後期まで終了された方が25名いらっしゃいまして、小学校に入学する前の就学時健診のなかで、家庭教育に関する講義を修了者に行ってもらっています。

○中原委員

目的の中にあります家庭教育の支援ということで、前期講座に家族の役割などの内容がありますが、開催の時間帯は考慮の使用がないのでしょうか。

○生涯学習課長

24年度まで、利便性を考えて、土曜日に開催していましたが、25年度は平日開催をしようかという意見がありまして、平日に開催したところ、参加者が少なかったため、26年度は土曜日開催に戻しました。

○中原委員

例えば、家庭で不安や悩みを抱えた保護者が増えているところだけを汲み取ると、おそらく働いているお父さん、お母さんが悩みを抱えていると思います。土曜日であっても、保育園に子どもを午前中は預ける保護者が多く、午後は少なくなります。ですから、講座も午前中というより、午後からの方が良いのではと思います。検討していただけると、受講者も増えるのではないのでしょうか。

○生涯学習課長

今後、アンケート等を取りながら、そういったご希望に添えるように実施していきたいと思っています。

○小西委員長

それでは、報告第65号を承認させていただきます。

○小西委員長

それでは、議案第30号を、高城教育課長より説明をお願いします。

※高城教育課長より説明

○小西委員長

ご質問はございませんでしょうか。それでは、議案第30号を決定します。

○小西委員長

報告第66号、報告第67号、報告第68号を、文化財課長より説明をお願いします。

※文化財課長より説明

○小西委員長

ご質問はございませんか。

○中原委員

企画展についてですが、第3日曜日に家族できた場合の割引については今回はないのでしょうか。

○文化財課長

家庭の日の割引は通年でやっていますので、企画、特別展関係なく無料で入場していただけます。それと、毎週土曜日は小中学生は無料です。

○小西委員長

展示資料のテーマの4のレプリカというのはどういう意味合いでしょうか。

○文化財課長

都城県印については、多くの借用依頼がありますので、レプリカを貸し出しています。また、都城島津伝承館に現物があるものは、文化財課ではレプリカを展示しています。

○小西委員長

それでは、報告第66号、報告第67号、報告第68号を承認します。

○小西委員長

報告第71号、報告第72号、報告第73号及び議案第31号は、都城島津邸館長より説明

をお願いします。

※都城島津邸館長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんか。

○中原委員

10周年記念の特別展のインターラクティブメディアアートは石蔵でキャパ的には大丈夫でしょうか。

○都城島津邸館長

すでに、紫舟氏は現地を見られていまして、本来ですと、もう少し広い面積は欲しいというところですが、その間はメディアアートが占有して、実施することになっています。場合によっては、事前のPRを兼ねて、交流プラザで実施することも検討されているようです。

○中原委員

これをやられるのは、東京のラボだったと思います。宮崎であったものを子どもと見に行ってきました。壁にタッチして、絵が動いてというものなので、そのタッチの具合も保護者と一緒だと丁寧ですが、子どもだけだと激しいので、交流プラザのパネルで仕切ったりした場合に耐えられるのか、チームラボと協議を進められた方が良いのではと思います。これはいいものだと思いますので、大人や中高生に見てもらいたいと思いますので、十分検討をお願いします。

○小西委員長

講演会はコミセンが会場となっていますが、最近は来場者が多いときもありますが、少なくとももったいないと思うときもあります。事前にPRが必要かと思います。

○都城島津邸館長

広報紙等でPRを行っていきたいと思います。

○小西委員長

報告第71号、報告第72号、報告第73号を承認しまして、議案第31号を決定します。

○小西委員長

報告第70号は美術館長より説明をお願いします。

※美術館長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんか。

○中原委員

この委員の方々は、どういったことをされるのでしょうか。

○美術館長

年1回、毎年、今年度の場合は、2月に収集委員会の開催を予定しています。そこで、都城市美術館として、購入したい作品、寄託、寄贈の申し出があった作品について、作品の収集方針に基づきまして、都城市として収集にふさわしい作品なのか、購入の場合は妥当な額なのかを審査をしていただいて、来年度の収集作品の方向を決めていただいています。

○小西委員長

審査の前に、あらかじめ購入希望の作品などが挙がってくるものなのですか。

○美術館長

ある程度、画商の方とか民間の方で売りに出される方もいらっしゃるもので、そういう情報があった場合は、事前に調査をして、資料を整えたうえで、情報の提供をします。当日、いきなり見て判断はできないので、ある程度、事前に資料を見ていただいでいて、当日、現物を見て、

最終的に判断をしていただく形をとっています。

○小西委員長

それでは、報告第70号を承認します。

○小西委員長

報告第69号を図書館長より説明をお願いします。

※図書館長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんでしょうか。それでは、報告第69号を承認します。

○小西委員長

報告第64号、議案第27号、議案第28号を教育総務課長より説明をお願いします。

※教育総務課長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんでしょうか。それでは、報告第64号を承認し、議案第27号、議案第28号を決定します。

○小西委員長

議案第29号は、学校教育課長より説明をお願いします。

※学校教育課長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんでしょうか。

○赤松委員

学校現場の大変困難な状況が推察できますので、学校が教育活動に取り組めるよう、要綱の改正を含めて検討をお願いしたい。

○島津委員

要綱が現実にそぐわないものであれば、学校現場をきちんと回すことが優先ですから、要綱の改正に向けて検討をお願いします。

○赤松委員

学校では、例えば、音楽の専科の授業の時に学級担任は手が空いている訳ですから、その学級に行って手伝ったり、教頭をその学級に回したりと可能な限りの工夫をしていると思います。それでも、なおかつ、そういう状況にあるのであれば、行政が手を差し伸べてやるしかないと思います。

○学校教育課長

確かに、学校で工夫をしながら対応している学校も多くあります。ただ、学校から要望がたくさん挙がってくるのですが、中には、学校での対応ができないのか、担任を含めて検討がされていないところもありますので、要望に対して、全て対応する訳ではなく、指導主事を派遣して、観察したりして、配置の決定をしています。一つのガイドライン、基準みたいなものを併せて検討していきたいと思います。

○小西委員長

よろしいでしょうか。それでは、議案第29号を決定します。

## 11 前会議録の承認

○小西委員長

7月15日の7月臨時教育委員会と7月17日の7月定例教育委員会の会議録が、すでにお

手元に届いていたと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

○小西委員長

それでは、前会議録を承認いたします。

12 その他

○学校訪問意見交換会

○9月定例教育委員会日程について

日程 平成26年8月21日(木) 13:30から

会場 委員会室

以上で、8月の定例教育委員会を終了いたします。